

都市再生整備計画 事後評価シート

みらさか地区

平成29年 3月

広島県 三次市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	広島県		市町村名		三次市		地区名		みらさか地区			面積		56ha
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期		平成28年度		交付対象事業費		590.0百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(区画道路(三次庄原線))/高質空間形成施設(区画道路(駅前地区・歩道部))/公園(1号街区公園整備(下郷地区))/公園(2号街区公園整備(下郷地区))/地域生活基盤施設(1号広場(駅前地区))											
		提案事業	地域創造支援事業(情報発信検討)/地域創造支援事業(排水路(駅前地区))/地域創造支援事業(宅地整地事業(駅前地区))/事業活用調査(事後評価業務)/まちづくり活動推進事業(コミュニティ組織活動支援事業)											
			事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業												
		提案事業												
	新たに追加した事業	基幹事業												
		提案事業												
交付期間の変更	当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
変更														
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期
	指標1	生活拠点としての満足度	%	52	H23	62	H28	-	53	△	あり	区画道路や排水路などの生活基盤を整備することで、地区内の土地利用の促進やこれに伴う周辺商店街の再生を期待したが、基盤整備事業が完了していないため、住宅立地が進んでおらず、目標の達成には至らなかった。しかし、作成したパンフレットによりみらさか地区の情報を発信したことや、事業の推進により多くの事業が来年度中に完了予定であることが、地権者のみらさか地区への期待感を高め、満足度の向上に寄与したと考えられる。	H31年10月	
											なし			●
	指標2	地域行事への参加者数	人	7,000	H23	8,000	H28	-	7,000	×	あり	地区内の生活基盤の整備に伴い、地区内の居住人口が増加し、祭りの参加者が増加すると予想していたが、事業の遅れにより想定したほどの住宅立地が進んでいないため、参加者数の増加は見られなかった。しかし、宅地の販売促進パンフレットの作成、区画道路の整備、宅地整地事業等により、一部、住宅が立地したことで、祭り参加者の維持につながった。	H31年7月	
											なし			●
	指標3										あり			
											なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	地区内の各地点から駅までの平均歩行時間	分	7.4	H18			-	7.3			区画整理事業区域内の道路の整備により、地区内の各地点から駅までの歩行時間が短縮された。また、道路の整備により、道路幅員が拡大し、区画整理事業区域内の移動の安全性が向上した。その他、平成29年7月に予定している駅前地区と下郷地区を結ぶ架橋の完成により、駅までの歩行時間はさらに短縮され、6.9分になる。	-	
	その他の数値指標2	地区内における公園の充足面積	ha	0	H23			-	20.4			街区公園の整備によって、地区内における公園の充足面積が増加した。また、区画整理事業区域の公園の充足面積は、事業前の0haから事業後は10.6haとなり、充足率は99%となる。しかし、1号広場(駅前地区)を整備することで充足率は100%と考える。	-	
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	・区画整理事業を契機に、みらさか地区の魅力向上や期待感が向上し、商店街に賑わいを創出しようとする機運が高まった。 ・街区公園の整備により、 子ども の遊び場や住民の憩いの場が創出される。 ・道路や排水路などの生活基盤の整備の推進により、安全な避難経路の確保や商店街に新規店舗が立地し賑わいが創出された。 ・道路整備により、自動車を持たない高齢者等の買い物の利便性が向上する。 ・地区内の道路整備により、主要幹線ややまなみ街道へのアクセスが容易となり、山陽・山陰への移動の利便性が向上する。													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		-				都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	土地区画整理事業推進協議会との会合 馬洗川法面の除草・清掃作業の実施					都市再生整備計画に記載し、実施できた				■			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	土地区画整理事業推進協議会との会合					都市再生整備計画に記載し、実施できた				■				
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

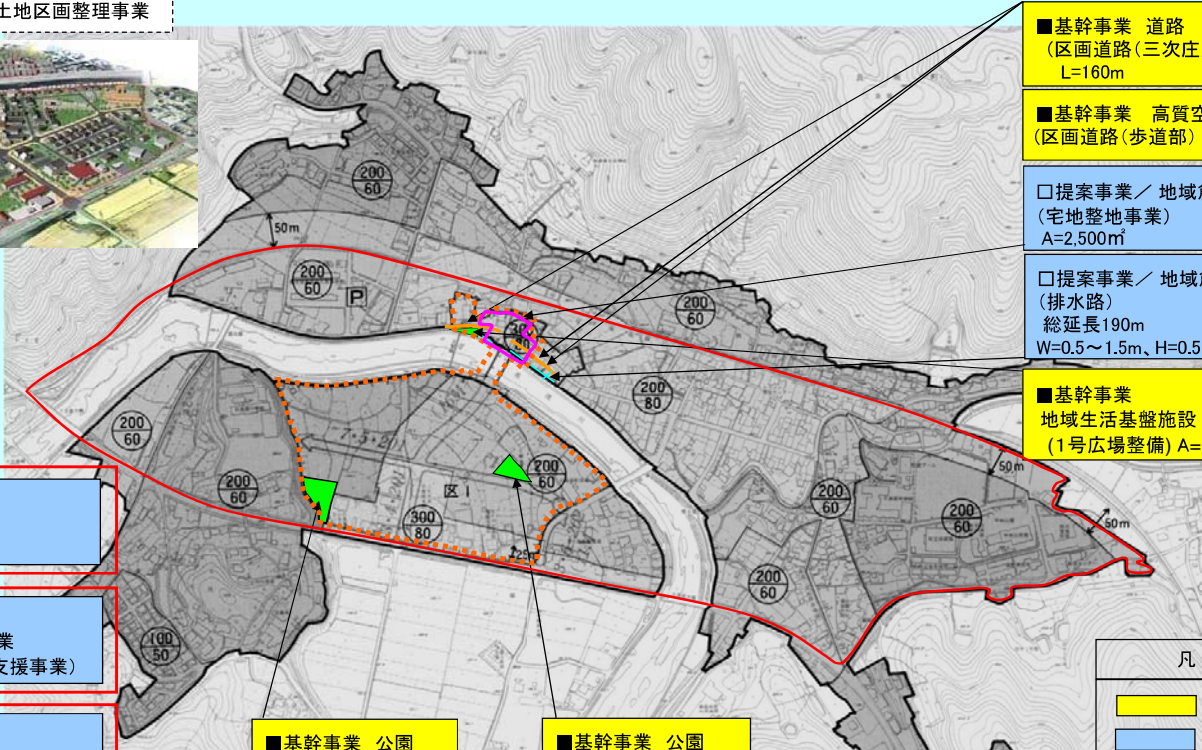
様式2-2 地区の概要

三次市中心市街地地区 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
生活拠点づくりによる住みたくなるまちづくり。 目標1: 基盤の整備された快適な住宅市街地の形成を図る 目標2: 地域を支える商店街の再形成を図る		生活拠点としての満足度	単位: %	52	H23	62	H28	53	H28
		地域行事への参加者数	単位: 人	7,000	H23	8,000	H28	7,000	H28

○関連事業／みらさか土地区画整理事業





■基幹事業 道路
(区画道路(三次庄原線))
L=160m

■基幹事業 高質空間形成施設
(区画道路(歩道部) L=160m)

□提案事業／地域創造支援事業
(宅地整地事業)
A=2,500㎡

□提案事業／地域創造支援事業
(排水路)
総延長190m
W=0.5~1.5m、H=0.5~1.5m

■基幹事業
地域生活基盤施設
(1号広場整備) A=159㎡

□提案事業
地域創造支援事業
(まちづくり方策の検討)

□提案事業
まちづくり活動推進事業
(コミュニティ組織活動支援事業)

□提案事業
事業活用調査
(事後評価業務)

■基幹事業 公園
(2号街区公園整備)
A=0.15ha

■基幹事業 公園
(1号街区公園整備)
A=0.18ha

凡 例	
■	基幹事業
□	提案事業
---	関連事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none">・道路や排水路などの生活基盤の適切な維持管理が必要である。・商店街や駅前空間の賑わい創出に向けた、具体的な手段の検討が必要である。・地区内の住宅立地を促進する必要がある。・今後、新たな住宅立地が進むと予想されるため、既存住民と新規住民のコミュニティ形成を促進する必要がある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none">・居住促進のためのパンフレットの作成や広報記載などによるPRを強化する。・駅前空間、商店街、公園などを活用したイベントを開催する。・住民が主体となったまちづくり活動を行う。・商店街のPR活動を強化する。・商店街を中心とした新たなイベント等を開催する。・店舗の新規立地への支援を行う。